

昭和リース

# ABL拡大を支援

## 保証実行額20億円

昭和リース(土屋明正社長)は、金融機関による動産・債権担保融資(ABL)の拡大に伴いABL保証で実績を伸ばしている。同社は、ABL保証

委託業務に関して地方銀行17行と提携。うち4行(東京都民銀行、東和銀行、東日本銀行、東京スター銀行)は東

度による提携。案件は製造業が中心で、機械・設備を担保とした融資保証を行っている。経済産業省によると国内のABL残高は14年3月末で前年同月比

5千億増の約1兆5千億円となり、今後さらに拡大が予想されている。同社では「年間4億円の保証実行額を今後3年間で20億円程度に増加させる」(営業推進部)計画。

融資保証だけでなく、担保となった中古物件の処分(売買)も手掛けている。引き取り予約提携金融機関は

富山銀行、紀陽銀行、京葉銀行、西京銀行、呉信用金庫など24機関。工作機械や建設機械、印刷機械、トラッ

クなどを中心にニーズを見込んでおり、処分能力のあるマシンセンタ―を通じて顧客層拡大に努めている。